

# 命をどう守りますか？

被曝後のこれからを考える



## 西尾正道 講演会

日時：2月24日(日) 13:00開場 13:30開演～16:30終演

場所：いわき市生涯学習プラザ4階 会議室

〒970-8020 福島県いわき市平字一町11日通地階オープンデッキ内 電話：246-57-8888



主催：いわき放射線市民測定室 Talachine

お問い合わせは、いわき放射線市民測定室 たらちね  
FAX:0246-92-2526 Eメール:talachine@bafk.plaza.or.jp



## 命をどう守りますか？ 被曝後のこれからを考える

3・11以後、私たちは被曝後の世界で2年の月日を送りました。2年前の事故は収束することなく、現在も進行中であるという事実。そして、私たちの命を守るはずの医療現場の心配の甚れ。止まない直線型被曝。この現状の中、子どもの命を守りながら生活するにはどうしたらいいのか？ 約3万人のがん患者を救った日本一、放射線の人体影響を経験的に知るプロフェッショナルである西尾正道先生。その立場から、被ばくによる健康影響が今後どのように現れ、どのような医療体制と対策を構築するべきか、ご意見をいただく講演会です。子どもを持つママやパパ、地域の医療に携わるみなさん、どうか御参加ください。これからは日々とつづく被曝後の世界。そこで暮らす私たち自身の生きる道を見つけるため、ぜひ、西尾正道先生のお話を聴きにいらしてください。

## 西尾 正道 (にしお まさみち)

独立行政法人国立病院機構北海道がんセンター院長。函館市出身。1974年札幌医科大学卒業後、国立札幌病院・北海道地方がんセンター放射線科勤務。1988年同科医長。2004年4月、機構改革により国立病院機構北海道がんセンターと改名後も同院に勤務し現在に至る。「わからないから安全だ」ではなく、「わからないから危険だ」として対応すべきであるという考えのもと、福島原発放射線健康リスク管理に対する批判と今後の被曝医療体制を再構築する政策を提言し、東京と福島で政府提言書を公表し、講演を行うなどの活動を通して被ばくと向き合っている。



**専門分野** 放射線治療 / 助産・資格・所属学会 その他

日本医学放射線学会放射線治療専門医

日本放射線腫瘍学会認定医 / 日本医学放射線学会

日本放射線腫瘍学会 / 日本放射線学会 / 日本放射線腫瘍学会

日本食道学会 / 日本乳癌学会 / 日本腫瘍学会

American Society for Therapeutic Radiology and Oncology (ASTRO)

European Society for Therapeutic Radiology and Oncology (ESTRO)

**著書** 「放射線健康障害の真実 がんセンター院長が語る」

「今、本当に受けたいがん治療」



いわき放射線市民測定室 tel:achire

〒970-0801 福島県いわき市平田町1-1-1

FAX:0245-92-2728

E-mail: iwaki@iwaki-achire.jp

### 【アクセスと駐車場のご案内】

福島県いわき市平田町1-1-1

〒970-0801

福島県いわき市平田町1-1-1

〒970-0801

①駐車場への道案内 / いわき市中央インテナーから

いわき市市民測定室までの道案内のご案内

は、こちらをクリックして読み込んでください。

